

目指す生徒像 『○思いやりのある生徒 ○心身を鍛える生徒 ○自主的に学ぶ生徒』

### □ 2 学期始業式！校長講話より（抜粋）

8月はじめに緊急事態宣言が出され、部活動や全校登校日が中止になり、さらには行動が厳しく制限された夏休みだったと思います。また、ここ2週間は感染者数が激増し、特に越前市においても小中学生を含め、多くの方が感染されています。

特に、今のコロナウイルスはデルタ株というものが主流になっており、今までとは感染力が桁違いに強く、重症化しやすいものだと言われています。

特徴としては、発症までに2、3日と短く、頭痛や発熱が出やすく無症状になることは少ないと言われています。

これからもこの状況は続くことが予想されます。この後担当の先生から話がありますが、しっかりと聞いて、安全・安心な学校生活ができるように対策を十分取って下さい。

何より大切なことは自分の命を守ることです。そのために感染対策を万全に取ること。そのことが大切な家族や友達など、周りの人の命も守ることに繋がるのだということをしっかり頭に入れて行動して欲しいと思います。

また、万が一生徒のみなさんに感染者が出てしまった場合には、みなさんが楽しみにしている学校祭をはじめとする学校行事が中止になったり延期になったりするだけでなく、昨年のような、臨時休校措置がとられることも十分あり得ます。そうならないようにするためにも、繰り返しになりますが、是非ともみなさんの自覚をお願いしたいと思います。

さて、7月23日から東京オリンピックが行われました。そして、現在はパラリンピックが行われています。連日暗い話題ばかりがニュース等で取り上げられている中、この期間は久しぶりに明るく元気をもらえたような気持ちになった人も多かったのではないのでしょうか。

オリンピックでは、史上最高の金メダルを獲得し、たくさんの種目で選手の活躍に勇気と感動をもらえました。次のオリンピックからは実施されない、野球やソフトボールの金メダル、水谷・伊藤の卓球の混合ダブルスの金メダル、福井県出身の見延選手がキャプテンを務めたフェンシングの金メダル。例を挙げるときりがありません。

一方現在行われているパラリンピックでは、もちろん感動もするのですが、あれだけ全力で競技に臨んでいる選手の姿を見るにつけ、もっと我々もしっかり頑張らないといけない、という強いメッセージをいただいているような気持ちになります。



### □ 体育祭開催式！校長あいさつより

本日ここに、令和3年度武生第二中学校の学校祭のスタートを切る体育祭が開催されること、大変嬉しく思います。今年の学校祭のテーマである『インフィニティ 無限大』にふさわしい、皆さんの活躍を心より期待しています。

今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染の影響で、たくさんの行事が中止または規模の縮小になりました。しかし、本日体育祭がこうして予定通り実施できることを、皆さんとともに喜び合いたいと思います。

さて、本来ならば、体育祭を二中のグラウンドで実施したかったところですが、改修工事が間に合わない等の諸事情により、急遽ここAWI体育館での実施となりました。

少し残念だと思っている生徒のみなさんもあるかと思いますが、天候に左右されないことや、冷房等の空調が完備されており、熱中症のリスクも少ないことなども含め、なかなか使用できないこの素晴らしい体育館で実施できることをプラスに考えるとともに、どうか感謝の気持ちをもってもらいたいと思います。

また、皆さんの活躍の様子を、全校生徒の保護者の皆様や来賓の方、そして地域の方々に見ていただきたかったところでしたが、感染対策のため無観客での実施としました。

生徒の皆さんは、「今まで当たり前のようにしていたことが何もできない」ということがこんなに辛いものかと、ここ1年半以上痛感していると思います。しかし今日はそんなことも吹き飛ばすように、今までの練習の成果を十分に発揮し、今年の学校祭のテーマのように、チームワークと熱い思いを無限大にして、思い出多き体育祭にして欲しいと思います。

本日の体育祭が、皆さんに元気と勇気と感動を与えるものになることを祈念しています。